

## 第4回 安全性向上有識者会議

日時 2019年6月10日(月) 14:00～16:00

場所 中日本高速道路株式会社 伏見社屋 8F

### 議 事 次 第

1. 「安全性向上への不断の取組み  
—「5つの取組み方針」に基づく取組み(2018年度)—」実施状況報告

#### 配布資料

資料1 安全性向上有識者会議 委員名簿

資料2 安全性向上への不断の取組み  
—「5つの取組み方針」に基づく取組み(2018年度)—

## 中日本高速道路株式会社安全性向上有識者会議 委員名簿

(敬称略)

座長	<small>みやがわ</small> 宮川	<small>とよあき</small> 豊章	京都大学学際融合教育研究推進センター インフラシステムマネジメント研究拠点ユニット 特任教授
座長代行	<small>たかの</small> 高野	<small>けんいち</small> 研一	慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科 教授
委員	<small>いけだ</small> 池田	<small>けいこ</small> 桂子	弁護士、弁理士
委員	<small>さしだ</small> 指田	<small>ともひさ</small> 朝久	東京海上日動リスクコンサルティング株式会社 主幹研究員
委員	<small>すずき</small> 鈴木	<small>かずゆき</small> 和幸	電気通信大学大学院情報学専攻 特任教授
委員	<small>まつだ</small> 松田	<small>よしふみ</small> 好史	西日本旅客鉄道株式会社 技術顧問

## 安全性向上への不断の取組み

—「5 つの取組み方針」に基づく取組み(2018 年度)—

## 目次 INDEX

---

はじめに	1
笹子トンネル天井板崩落事故の概要	2
安全性向上への「5つの取組み方針」	2
安全行動指針	3
「5つの取組み方針」に基づく取組み内容	4
2018年度の取組みの状況	
1. 安全を最優先とする企業文化の醸成	5
2. 道路構造物の経年劣化や潜在的リスクに対応した業務プロセスの継続的改善	12
3. 安全活動の推進	23
4. 安全を支える人財の育成	33
5. 安全性向上に向けた着実かつ効率的な事業の推進	41
【参考1】安全性向上への「5つの取組み方針」の位置付け（2016年度～）	53
【参考2】安全性向上への「5つの取組み方針」の体系（2016年度～）	54
【参考3】「安全掲示板」等を通じた海外を含む社内外の安全に関する情報収集・共有	55
【参考4】人財育成マスタープラン	55
【参考5】第3回 安全性向上有識者会議 議事概要（2018年6月13日）	56

# はじめに

2012年12月2日、当社の管理する中央自動車道 笹子トンネル（上り線）における天井板崩落事故により、9名もの尊い命が失われ、多くの方々が被害に遭われました。

お亡くなりになられた皆さま、ご遺族の皆さまに対しまして、深くお詫び申し上げますとともに、お亡くなりになられた皆さまのご冥福を心からお祈りいたします。また、事故によってお怪我をされた皆さまや、ご迷惑をおかけした皆さまに心からお詫び申し上げます。

NEXCO 中日本は、事故後直ちに安全に関する現状認識と問題点について幅広く検証を行い、再発防止に向けた取組み方針を取りまとめた「安全性向上に向けた取組み」を公表し、国の「トンネル天井板の落下事故に関する調査・検討委員会」報告書や外部有識者の意見も踏まえて策定した「安全性向上3カ年計画」（2013-2015年度）に基づき、グループを挙げて再発防止と安全性の向上に取り組んでまいりました。

現在は、『経営計画チャレンジV2016－2020』における経営方針の最上位に「高速道路の安全性向上と機能強化の不断の取組み」を位置づけ、笹子トンネル天井板崩落事故を決して忘れず、お客さまに安全な高速道路を提供し続けることこそ、最大の使命であるとの強い決意のもと、『安全性向上への「5つの取組み方針」』に基づく取組みを持続的に進めております。

事故から6年余りが経過した2019年4月13日、中央自動車道の2か所に建立した慰霊碑の除幕式を執り行いました。私は、完成した慰霊碑を、事故の尊い教訓を決して風化させず、高速道路の安全性向上と機能強化に係る不断の取組みを続けることをお誓いする場所として、末永くお守りしていくことをお約束いたしました。

私たちは、事故を引き起こした責任を重く受け止め、「二度とこのような事故を起こしてはならない」という深い反省と強い決意のもと、ご遺族の皆さま、被害に遭われた皆さまに真摯に対応するとともに、グループを挙げて、安全文化の向上、潜在的リスクへの対応、安全を長期的に確保していくためのハード面の施策など、高速道路の安全性向上という永遠の挑戦課題に取り組んでまいります。

中日本高速道路株式会社  
代表取締役社長 CEO 宮池 克人

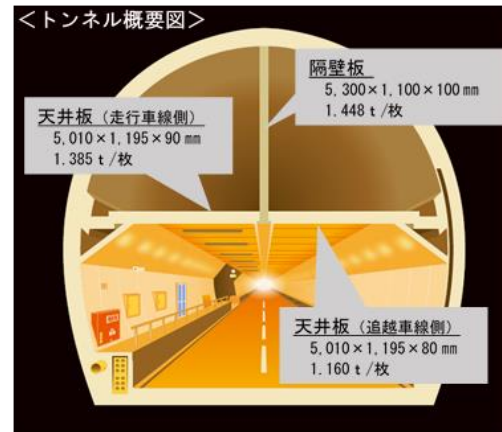
## 笹子トンネル天井板崩落事故の概要

発生日時：2012年12月2日（日曜日） 午前8時03分

場 所：中央自動車道（上り線）笹子トンネル内（延長4.7km、大月JCT～勝沼IC間）

事故概要：笹子トンネル（上り線）の東京側坑口から約1.5km付近で、トンネル内の換気のために設置されていた天井板、隔壁板などが約138mにわたり崩落し、走行中の車両3台が下敷きとなり、うち2台から火災が発生しました。

この事故で、9名もの尊い命が失われ、多くの方々が被害に遭われました。



## 安全性向上への「5つの取組み方針」

私たちは、2012年12月2日に引き起こした笹子トンネル天井板崩落事故を決して忘れず、お客さまに安全な高速道路を提供し続けることこそ、最大の使命であるとの強い決意のもと、次の「5つの取組み方針」に基づき、安全性向上の取組みを持続的に進めます。

### 1. 安全を最優先とする企業文化の醸成

グループ内の連携・コミュニケーションの充実により、安全を最優先とする価値観が共有され、自律的な行動が展開される企業文化を醸成します。

### 2. 道路構造物の経年劣化や潜在的リスクに対応した業務プロセスの継続的改善

道路構造物の経年劣化や潜在的リスクに対応した計画・実行・評価・改善のサイクルを着実に実践し、現場に根ざした業務の継続的改善を行います。

### 3. 安全活動の推進

海外を含む社内外の安全に関する多様な情報の収集・共有や、最新の知見によるきめ細かな現場への支援・指導等に加え、社外の視点も採り入れ、組織横断的な安全活動を推進します。

### 4. 安全を支える人財の育成

安全を最優先し、強い責任感・意欲・誇りと、高い技術力を持って自ら考え行動する人財を育成します。

### 5. 安全性向上に向けた着実かつ効率的な事業の推進

点検・補修技術の更なる向上と、効果的な経営資源の投入により、安全性向上に向けた事業を着実かつ効率的に実施します。

## 安全行動指針

- ◆事故を決して忘れず、お客さまの安全を何よりも優先します。
- ◆現場に向き合い、現場から学び、考え行動します。
- ◆潜在的リスクにも目を向け、計画・実行・評価・改善のサイクルを着実に実践します。
- ◆安全に関する情報を積極的に収集し、自らの問題として考え行動します。
- ◆安全について自らのテーマを設定し、自己研鑽します。

## 「5つの取組み方針」に基づく取組み内容

本報告書は、2018年度におけるNEXCO中日本グループの安全性向上の「5つの取組み方針」に基づく取組みについて取りまとめたものです。

取組みについては、「第3回安全性向上有識者会議（2018年6月13日）」の有識者委員から頂いたご意見やアドバイスを踏まえ、PDCAサイクルを着実に実践しながら各取組みをスパイラルアップさせて、継続していくこととしました。

次頁からは、取組み方針ごとに以下の項目に分けて報告します。

- ・「2018年度に向けて（2017年度の振り返り）（P）」
- ・「主な取組み状況（D）」
- ・「取組みの自己評価と課題認識（C/A）」
- ・「2019年度に向けて（P）」

### 安全性向上への不断の取組み （課題の解決に向けて）

